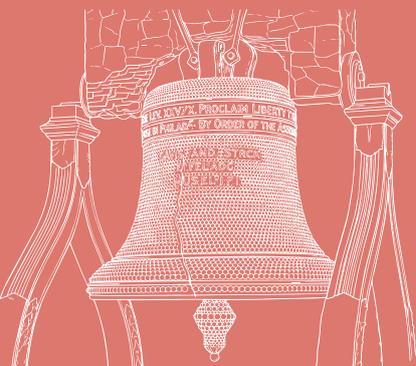
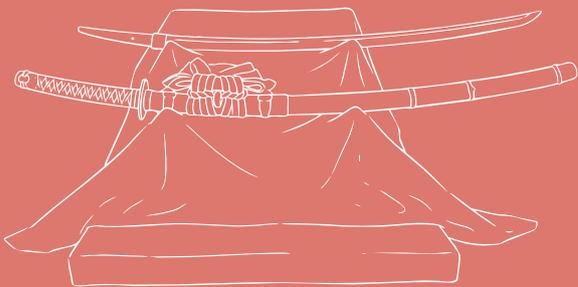


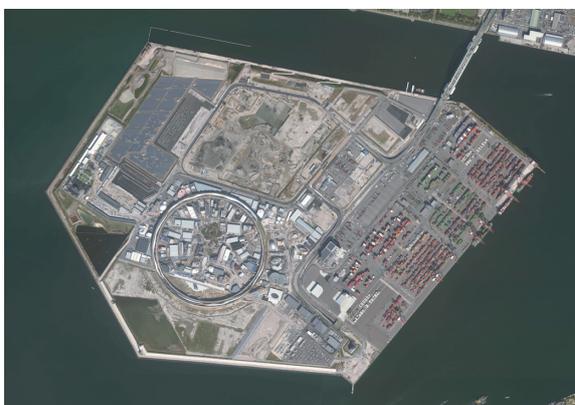
第 1 章

2025年日本国際博覧会 (大阪・関西万博) のあらまし



I 概要

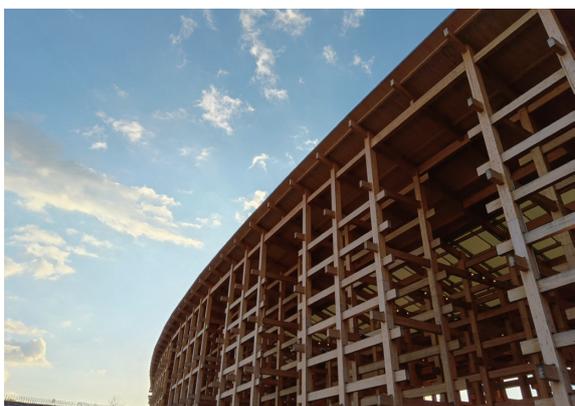
名 称	2025年日本国際博覧会 (略称「大阪・関西万博」) EXPO2025 OSAKA, KANSAI, JAPAN
種 別	国際博覧会条約に基づく「登録博覧会」
テ ー マ	いのち輝く未来社会のデザイン Designing Future Society for Our Lives
サブテーマ	Saving Lives (いのちを救う) Empowering Lives (いのちに力を与える) Connecting Lives (いのちをつなぐ)
コンセプト	People's Living Lab (未来社会の実験場)
会 場	大阪 夢洲 (大阪府大阪市此花区)
会 期	令和7 (2025) 年4月13日 (日) から10月13日 (月) (184日間)
開催時間	9時から22時
参加国等	158か国・地域、7国際機関
主 催 者	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 (博覧会協会)
来場者数	2,901万7,924人 (うちAD証入場者数 343万8,938人)



©Expo 2025



©Expo 2025



©Expo 2025



©Expo 2025

■ ロゴマーク



■ デザインコンセプト

踊っている。跳ねている。弾んでいる。
だから生きている。
きっと心を躍らせるサイエンスやテクノロジーの発見。
だれもが飛び跳ねたくなるエンターテインメントの興奮。
つい胸を弾ませてしまうアートやクリエイティブの感動。
それらは人の身体のずっとずっと奥深くにまでとどいて、
いのちをささえているCELL（細胞）たちにも元気をあたえてくれる。
2025年大阪・関西万博という、わたしたちがもうすぐ出逢える新しい未来。
一人ひとりの個性が躍動しながら集まって、繋がって、そこにはきっと、いのちの輝きがあふれている。

■ 公式キャラクター 愛称「ミャクミャク」



©Expo 2025

■ ミャクミャクについて

細胞と水がひとつになったことで生まれた、ふしぎな生き物。その正体は不明。
赤い部分は「細胞」で、分かれたり、増えたりする。
青い部分は、「清い水」で、流れる様に形を変えることができる。
なりたい自分を探して、いろいろな形に姿を変えているようで、人間をまねた姿が、今の姿。
但し、姿を変えずぎて、元の形を忘れてしまうことがある。
外に出て、太陽の光をあびることが元気の源。雨の日も大好きで、雨を体に取り込むことが出来る。
開幕前から自分のことを皆さんに知ってもらい、2025年に開催される大阪・関西万博で多くの人に会えることを夢見しています。

■ プロフィール

- 出生地：関西のどこかにある小さな湧水地。
- 性格：人懐っこいが、おっちょこちょいでよくポカをする。
- 特技：色々な形に姿を変えられること、雨上がりに虹を見つけること。
- 好きなこと：あらゆる生き物や物事と触れ合うこと。

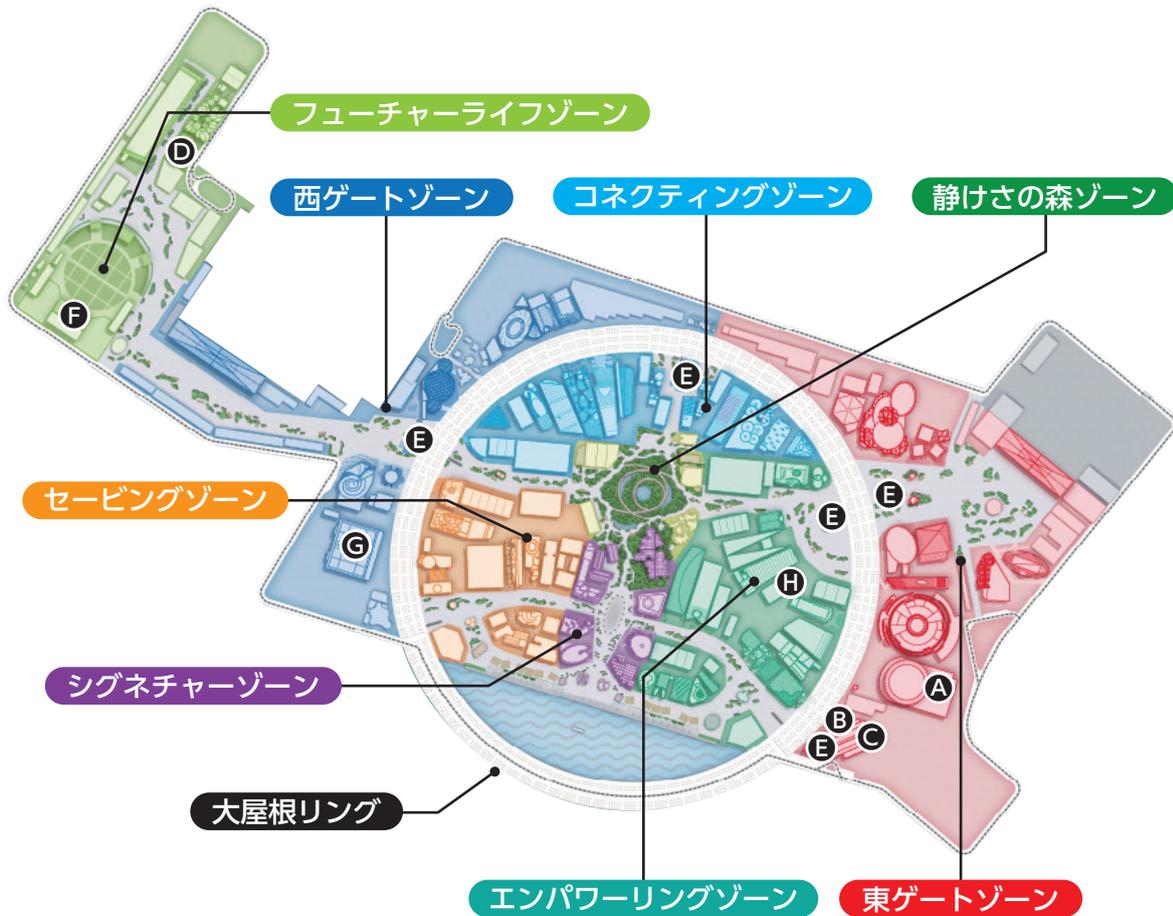
Ⅱ 開催決定から閉幕までのあゆみ

日 程	内 容
平成 30(2018)年 11月 23日	パリで開かれた博覧会国際事務局 (BIE) 総会で 2025 年国際博覧会の大阪での開催が決定
平成 31(2019)年 1月 30日	2025 年日本国際博覧会協会が設立
令和 2(2020)年 7月 13日	プロデューサーの選定
8月 25日	ロゴマークの決定
9月 16日	国が博覧会協会推進本部を発足
12月 1日	BIE総会において、登録申請書が承認
12月 21日	国が基本方針を閣議決定
12月 25日	博覧会協会が基本計画を策定・公表
令和 3(2021)年 3月 4日	企業・団体を対象とした基本計画説明会を開催
8月 19日	企業・団体を対象とした出展参加説明会
12月 24日	国がアクションプランを策定
令和 4(2022)年 2月 10日	企業・団体等によるパビリオン出展者が内定
3月 22日	公式キャラクターデザインが決定
7月 18日	公式キャラクターの愛称が「ミャクミャク」に決定
10月 25日、26日	大阪・関西万博に参加する国・地域が集まった初の国際会議「International Planning Meeting (IPM)」が大阪市で開催(国際企画会議)
令和 5(2023)年 4月 13日	夢洲でパビリオンなど主要施設の起工式(建築工事開始)
6月 6日、7日	第2回IPMが開催(国際企画会議)
6月 30日	大屋根リングが着工
11月 14日、15日	第3回IPMが開催(国際参加者会議)
11月 30日	前売りチケット販売開始
令和 6(2024)年 1月 26日	ボランティア募集開始
4月 13日	公式キャラクター「ミャクミャク」が初めて声を披露
6月 25日、26日	第4回IPMが開催(国際参加者会議)
9月 10日	パビリオン配置発表
9月 25日	パビリオン・イベント観覧抽選の申込開始
11月 26日	開幕前最後のBIE総会に出席
令和 7(2025)年 1月 15日、16日	開幕前最後となる第5回IPMが開催(国際参加者会議)
1月 19日	大阪・関西万博の会場の玄関口となる新駅「夢洲駅」を開業
2月 28日	大屋根リングが完成し、博覧会協会へ引き渡し
3月 4日	大屋根リングが「最大の木造建築物」としてギネス世界記録に認定
4月 4日～6日	テストラン開催
4月 9日	メディアデー開催
4月 12日	2025 年日本国際博覧会 開会式
4月 13日	大阪・関西万博開幕
7月 3日	ジャパンデー
10月 12日	BIEデー
10月 13日	2025 年日本国際博覧会 閉会式・閉幕

Ⅲ 博覧会会場と主要施設

■ 会場全体概要

大阪・関西万博の会場である夢洲は、大阪市内の臨海部に位置する人工島。会場面積は155haで、大阪・関西万博のシンボルである「大屋根リング」を中心に、8つのゾーンで構成



2025年日本国際博覧会協会提供地図を加工

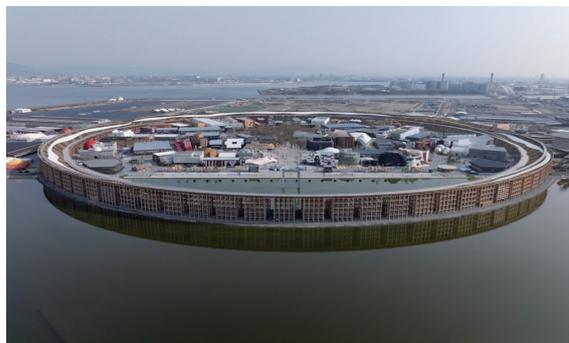
	催事施設名
Ⓐ	EXPO ホール「シャインハット」
Ⓑ	EXPO ナショナルデーホール「レイガーデン」
Ⓒ	ギャラリー EAST
Ⓓ	ギャラリー WEST
Ⓔ	ポップアップステージ 東外／東内／西／南／北
Ⓕ	EXPO アリーナ「Matsuri」
Ⓖ	EXPO メッセ「WASSE」
Ⓗ	フェスティバル・ステーション

■ 主要施設

■ 大屋根リング

「多様でありながら、ひとつ」という会場デザインの理念を表す大阪・関西万博会場のシンボルとなる建築物

会場の主動線として円滑な交通空間であると同時に、雨風、日差し等を遮る快適な滞留空間として利用される。

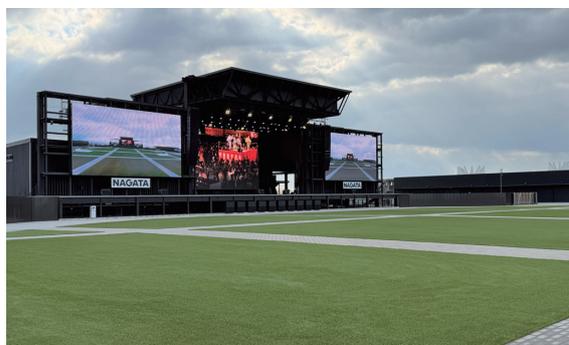


©Expo 2025

■ 催事施設

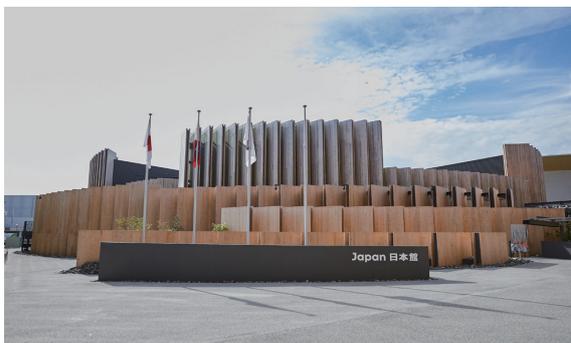


EXPOホール「シャインハット」



EXPOアリーナ「Matsuri」

■ 国内パビリオン



日本館

©Expo 2025



大阪ヘルスケアパビリオン ©Expo 2025

■ シグネチャーパビリオン



null²

©Expo 2025

■ 海外パビリオン



イタリア館

©Expo 2025